第4次 郡上市子ども読書活動推進計画（2025年度～2029年度）を策定しました

読書を通じて、読むことの楽しさとともに、多くの知識を得て多様な文化への理解を深め、生涯にわたる学習意欲やウェルビーイングにつながることを目指して本計画を策定しました。

【概要】家庭・園・学校・市図書館・地域（行政）が、それぞれの立場で子どもの読書を支えていきましょう。

楽しく・いきいき・すすんで読書

郡上市すべての子どもが、多くの本と出会い、読書の楽しさや喜びを実感することで、自ら進んで読書に親しみ、生涯の読書活動が豊かになることを目指します。

なぜ子どもたちに本好きになってほしいか…といえば

やがて、自ら学ぶ楽しさや知る喜びを体得し、更なる探究心や真理を求める態度を培ってほしいと願うからです。（「シン・郡上学」推進の力に）　※家読（うちどく）の実践を

家庭　園　学校　市図書館　地域（行政）

基本方針１　多くの本との出会いの提供

本との出会いを提供する機会を積極的に設け、子どもが読書に親しむことができる読書活動の推進に努めます。
（身近に本のある環境・ブックスタート・ブックトーク・移動図書館　等）

基本方針２　読書の楽しさや喜びを実感する読書推進

子どもたちそれぞれの成長に応じて、本を楽しむことができる読書活動の推進に努めます。
（家読・中高 YA コーナー・学習情報センター機能・児童生徒の活動　等）

基本方針３　特別な支援を必要とする子どもの読書活動の推進

特別な支援を必要とする子どもの理解とサービスの向上を図ることで、だれもが読書に親しむことができる機会を設けるように努めます。
（個性に適した本との出会い・ニーズに応じた蔵書・特性に応じた支援　等）

※第４次郡上市子ども読書活動推進計画は、市ホームページまたは郡上市図書館ホームページでご覧いただけます。

凌霜（りょうそう）

郡上市の教育理念
【凌霜の心で拓く明日（あした）の郡上（ぐじょう）市】
「凌霜の心」＝高い志と不屈の精神・感謝の心

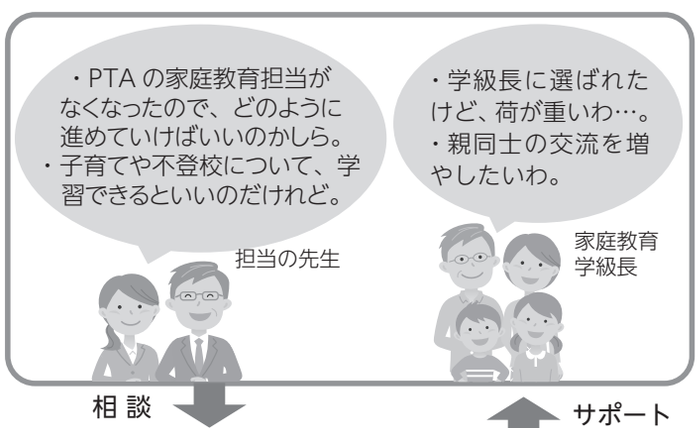
市ホームページ

図書館ホームページ

家庭教育をサポートする「家庭教育支援チーム」が始まります！

ひとり親家庭や共働き家庭の増加、核家族化や地縁的つながりの希薄化などによって、家庭教育を支える環境が大きく変化しています。そんな中で、子育てに悩みや不安を抱える保護者が存在し、不登校やひきこもりなどの子どもの育ちに関する課題も懸念されています。

こうした状況の中で、子どもたちの健やかな成長を支え、すべての保護者が安心して家庭教育を行えるように、家庭教育支援の取組を行う「家庭教育支援チーム」を設置しました。



事業の内容

幼・保・小・中学校の家庭教育学級を中心に、家庭教育をサポートします。

①保護者への学びの場の提供
「学び」と「育ち」に関する講話やワークショップの開催を支援します。

②保護者のつながりの支援
「おしゃべり場」や「サロン」などの開催を支援します。

③親子活動や野外活動の提案

④困りごとの相談や関係機関への橋渡し

家庭教育支援チーム

コーディネーターが学校（担当の先生）と連携して、募集や運営をコーディネートします。

・子どもの発達についてお話します。
・子育ての困りごとの相談にのります。
・懇談会のお手伝いをします。

問　教育委員会社会教育課　67-1128